

● 基本情報入力sht

VLAC記入欄の「S（サーベイランス）追加口数」はサーベイランス審査料金の算出に使
います。（VF130-2023(R1)を参照。）

サーベイランス審査料金はFY2024から一律料金を止め、試験区分の分量を反映致します。

2. 試験場名称

枝番号

()

(中略)

4 英文認定証: 要 不要

<注> 拡大審査を書類審査のみで行う場合は備考欄に理由記述。

<注> サーベイランスは英文認定証「不要」になります。

<注> 変更審査は英文認定証「要」になります。

VLAC 記入欄	受付日	受付番号	管理費 区分	基本 単位	追加 単位	S追加 口数	認定範囲の 品質システム	備考
	現地審査: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		審査員数:	人	審査日数:	日	変更審査: <input type="checkbox"/> 有	

● 試験区分入力sht

「近接電磁界イミュニティ試験（車載）」を65行目に追加。

6. 試験区分—電磁両立性イミュニティ

6.1. 静電気

要付属書

静電気放電試験

車載用機器

6.2. 放射電磁界

放射電磁界イミュニティ試験(擬似自由空間アンテナ放射)

要付属書

電波暗室 測定周波数範囲: _____ ~ _____

FARIによる試験 測定周波数範囲: _____ ~ _____

車載用機器 測定周波数範囲: _____ ~ _____

近接電磁界イミュニティ試験 測定周波数範囲: _____ ~ _____

近接電磁界イミュニティ試験(車載) 測定周波数範囲: _____ ~ _____

放射電磁界イミュニティ試験(TEMセル、ストリップライン、トリプレート)

要付属書

TEMセル 測定周波数範囲: _____ ~ _____

ストリップライン 測定周波数範囲: _____ ~ _____

トリプレート 測定周波数範囲: _____ ~ _____

放射電磁界イミュニティ試験(反射箱)

要付属書

リバプレーションチャンバー 測定周波数範囲: _____ ~ _____

● 試験規格入力sht

注釈から“前回更新時がr18”に対する暫定処置を消去した。代わりに、A列の「○/●」選択と、サーベイランス申請時の“最新”列について、注釈を追記した。

複数の試験場がある場合はこのファイルを試験場毎に作成してください。

試験場名称	試験場管理責任者名/所属	E-mail	電話番号	事務局記入
	名前			
	所属			*****

↓ 認定更新時: 試験規格を現状のまま継続する場合は「○」を、それ以外(拡大/縮小、版数Up/Down)は「●」を選択する (*1)。

↓ 認定拡大時: 拡大対象規格の記述のみでよい。試験区分が同じなら「○」を、追加時は「●」を選択。試験規格追加(版数UPを含む)は「●」を選択。

↓ サーベイランス: 「○」を記入。“版/発行年”は現認定証の内容を転記する。“最新”列はサーベイランス申請時点を記入する。

14. 試験規格—電磁両立性エミッション

(*1) 記号「○」「●」の削除は、DEL、Backspaceで実施してください。

試験規格を下記記述欄にご記入ください。

(*2) 当該セルを右クリックして、適宜「行の高さを変更」して下さい。

----- 認定証(和文)表記 ----- 認定証(英文)表記 -----

規格番号	版/発行年	規格番号	版/発行年	最新

[行追加](#) <注>一旦追加した行は削除できません。

(注: 上記に記入した規格番号及び表記が認定証に記載されます。)